

□さくら市進化プラン進捗状況について

- さくら市進化プランは、花塚市長が市の10年先を見据え策定した計画です。
- 進化プランは、5つの「進化(政策)」を達成するために46の事業を掲げ、それぞれに具体的な数値目標を設定し進捗を管理しています。
- 46の事業のうち進捗状況が「達成」「順調」のもの割合が73.9%でした。
- なお、数値目標は、令和2年度の状況が確定していないため、令和元年度の実施値を記載しています。

【問】総合政策課 TEL681-1113

＜進捗状況評価の説明＞

- S 既に当初の目標が実現したもの
- A 数値目標や取組内容などを総合的に判断して順調であるもの(改善しているもの)
- B 数値目標どおり進捗していないもの
- C 事業に着手していないもの

掲載した指標は、進化プランに掲げる指標の中から主な指標を記載
統計調査の結果など指標値が把握できない項目は実施事業等の取組状況を記載

＜評価結果＞
達成S: 9/46 (19.6%)
順調(改善)A: 25/46 (54.3%)
遅れB: 12/46 (26.1%)
未着手C: 0/46 (0.0%)

達成S+順調A=73.9%

政策	施策	事務事業	指標/取組内容			評価	評価分析(解説)
			基準値(H28)	実績(R1)	目標(R2)		
売上げを伸ばす！農工商、産業の進化	農産物(品)の売り上げ1.2倍	農産物(品)の売上げを伸ばす	農産物の市町村別年間産出額 (H28) 976千万円 実績(R1) 1,064千万円 目標(R2)1,024千万円	A	・農産物売上1.2倍推進協議会を立ち上げ、農産物直売所の売上げ向上や新たな売れる作物の検討などを進めています。 取組内容:露地野菜推進支援事業の新設、さくら市独自の農地バンク設立等に取り組みました。 ・目標の「1.2倍」に達していませんが、年間産出額・首都圏への出荷額共に令和2年度の目標値には達しています。 □		
		首都圏への出荷額(各年) (H28) 31.8億円 実績(R1) 56億円 目標(R2)35億円					
	魅力ある商品で商店の売り上げ増	地元産農産物の使用率(学校給食等) 50%以上	市特産物を提供した給食の回数 (H28) 33回 実績(R1) 65回 目標(R2)55回	A	・さくらブランドの認証を進めたほか、パンフレットのリニューアル、販売促進事業を実施しました。 ・店前景観整備推進事業や売上げアップ店内改修事業に取り組んでいます。		
		個性ある商店の創出	経営活性化支援事業補助金を活用した企業等数 (H28) - 実績(R1) 24件 目標(R2) 10件	A			
	交流人口倍増計画	魅力ある地域づくり、イベント実施 シティプロモーションで交流人口を伸ばす	観光客等入込数 (H28) 711,756人 実績(R1)1,954,537人 目標(R2)1,400,000人	S	・道の駅きつれ川の来場者が増加したことで観光客等入込数は目標値を大幅に上回りました。 ・さくら式グリーンツーリズムについて事業内容等の検討を進めていますが新たな取組には至っていません。		
		さくら式グリーンツーリズム	さくら式グリーンツーリズムのメニュー数 (H28) 0 実績(R1) 1 目標(R2) 2	B			
市内企業をより元気に	業務拡大に向けた個別支援	工場立地や用地取得などに対する奨励金の拡充	A	・工場誘致条例を企業誘致条例に改正し、奨励金の額の拡充を図るなど事業所に対する支援に取り組みました。 また、平成29年度から13社の企業等の誘致が実現しました。			
	企業誘致促進	新設した工場の数 (H28) 0件 実績 (R1) 2件 目標(R2) 2件	A				
気力・体力・学力No.1	学力 県内トップクラスの達成	学力調査結果を県内トップクラス	全国学力学習状況調査における正答率の県平均との差(小6国語) (H28) 1.0ポイント 実績(R1) 5.0 目標(R2) 1.5	A	・小学6年生の国語及び算数については、両教科ともに順調に上昇し、既に目標値を達成しています。 ・中学3年生の国語及び数学については、両教科ともに上昇傾向ではあるものの、目標達成までは至りませんでした。		
			全国学力学習状況調査における正答率の県平均との差(小6算数) (H28) 1.6ポイント 実績(R1) 3.0 目標(R2) 2.0				
			全国学力学習状況調査における正答率の県平均との差(中3国語) (H28) -1.4ポイント 実績(R1) 0.2 目標(R2) 1.0				
			全国学力学習状況調査における正答率の県平均との差(中3数学) (H28) -2.3ポイント 実績(R1) -1.8 目標(R2) 1.0				
	気力・体力づくり	市体育協会加盟団体主催スポーツ教室のべ参加者数 (H28) 90,916人 実績(R1) 93,979人 目標(R2)91,000人	A	・スポーツ教室の参加者数は順調に増加しスポーツに親しむ子供が増えています。			

政策	施策	事務事業	指標/取組内容			評価	評価分析(解説)
			基準値(H28)	実績(R1)	目標(R2)		
教育の進化	課外「さくらスクール」の開設	課外「さくらスクール」の開設	平成29年3月開設			S	・参加者数は年々増加しています。市民ボランティアの協力により教室や講座については順調に開催できています。事業の更なる充実を図るため毎年講座の種類を増やす等充実を図っていきます。
			さくらスクールで実施されている教室・講座の数 (H28) 43 実績(R1)161 目標(R2) 132				
		基礎学力を養う市民塾	学力アップ小学生コースのべ参加者数 (H28) 0人 実績(R1)1,576人 目標(R2)1,440人			A	・参加者数は年々増加傾向にあります。参加者数が増加していることから、サポーター不足を防ぐため、令和元年度の市民大学において学習サポーターを養成するための講座を開催しました。 ・今後は参加しやすい環境を整備するため、地域の自治公民館等を会場とするサテライト会場の開設を検討しています。
			学力アップ中学生コースのべ参加者数 (H28) 0 実績(R1)2,369人 目標(R2) 4,560人				
		5歳児からの英語学習などの取組み	英語あそびプログラムへの参加のべ園児数 (H28) 0 実績(R1) 877人 目標(R2) 540人			S	・幼児期より楽しみながら英語に慣れ親しむ機会を提供しています。市内の保育園、幼稚園を会場に実施しています。
		里山を活かした体験学習の充実	体験学習の参加者数 (H28) 38人 実績(R1) 139人 目標(R2) 60人			S	・市内の自然環境を利用し、子供達に自然体験を提供しており、年々参加者は増加しています。より充実した体験が提供できるよう、体験内容や開催会場等について検討を行っていきます。
	ICT教育の推進	ICT教材の活用	ICT支援員配置各小中学校に派遣 (H28) 0校 実績(R1) 2校 目標(R2) 4校			A	・※R2年度 全児童生徒分のタブレットを導入GIGAスクール構想(令和元年12月閣議決定)に基づき、各学校のネットワーク環境整備、児童生徒一人一台PCの導入を令和2年度中に完了させます。 ・また、各普通教室の大型提示装置を大型かつワイヤレスミラーリング可能なタイプに更新します。(R2) ・さらに、家庭の通信環境整備への補助金交付要綱を設け、家庭でのオンライン学習環境の充実を図ります。(R2)
		ICT教材の導入	児童生徒に対するタブレット台数の割合 (H28) 0% 実績(R1) 9.7% 目標(R2) 34%			S	
	スポーツ教育施設の充実	プール・武道館等体育施設の最適化	プール・体育館・武道館等屋内体育施設の最適化の検討及び計画策定			B	・プール・体育館・武道館等屋内体育施設の最適化の検討及び計画策定については、現状調査、先進地視察を行ってきましたが、重要施策であることから、優先する対象施設の抽出や手順・工程等の検討見直しをすることとします。 ・令和元年バスケットコート新設。令和3年度にはフットサル兼用テニスコート及び壁打ち施設が完成します。
		体育施設の充実	バスケットボールコート新設 テニスコート増設 多目的壁打ち施設新設			A	
プレイパークの開設		お丸山公園などの平地林等を活用した遊び場を検討中			B		
母になるならさくら市で！働き・子育て	子育て世代支援センターの開設	子育てのための経済的支援	負担軽減された年間医療費総額 (H28) 196,889千円 実績(R1)200,111千円 目標 208,367千円			A	・児童医療費助成額は年々増加しており子育て世代の経済的負担を軽減しています。 ・令和元年4月時点では待機者がいましたが、令和2年4月には待機状況が解消されました。※R2.4月現在 待機児童0人→目標達成
		女性が社会参加しやすい環境づくり	保育所・認定こども園・地域型保育事業所の待機者数 待機児童数(H29.4月)18人 (R2.4月) 0人			S	
		困窮世帯への支援	志望先への進路決定率(中学3年生学習支援登録者) (H28) 90.0% 実績(R1) 100.0% 目標(R2)90.0%			A	
空き住宅活用支援、優良住宅の提供	空き家、空き地活用支援	空き家・空き店舗バンク創設空き家バンク登録物件数 (H28) 3件 実績(R1) 17件 目標(R2) 15件			A	・「空き家バンク」制度の取扱物件に空き地及び店舗を加え登録物件を拡充を図りました。 ・保留地販売は概ね順調に進んでいます。	
		当該年度に売却した保留地販売区画数(累計) (H28) — 実績(R1) 40区画 目標(R2) 59区画					
結婚支援体制の確立	結婚サポーターの育成	年間婚姻数 (H28) 229組 実績(R1) 203組 目標(R2) 220組			B	・婚活イベントには毎年募集定員を上回る応募がありますが、婚姻数は減少傾向にあり、目標を達成していません。 ・令和2年度からとちぎ結婚支援センター登録料の一部を助成しています。	
		婚活イベントの充実	婚活イベント参加者数(累計) (H28) 173名 実績(R1) 389名 目標(R2) 490組				A

政策	施策	事務事業	指標/取組内容			評価	評価分析(解説)
			基準値(H28)	実績(R1)	目標(R2)		
環境の進化	環境にやさしいさくら市	再生可能エネルギーの活用	住宅用太陽光発電システム設置件数 (H28) 663件 実績(R1) 868件 目標(R2) 1,063件	A	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー利用機器設置補助の継続により、住宅用太陽光発電システムの設置件数が増加しています。 家庭用以外の再生可能エネルギー利用機器も普及してきたことに伴い、電力使用時の温室効果ガスが低下しています。 		
		環境保全活動の推進	温室効果ガス削減率 (H28) 7.44% 実績(H30) 4.81% 目標(R2) 4.8%	A			
いつまでも安心な暮らしのために医療・福祉・福祉・移動手段の進化	地域包括ケア体制の確立	さくら市独自の体制づくり	地域サロンの数 (H29) 20箇所 実績(R1) 50箇所 目標(R2) 50箇所 認知症サポーター数 (H28) 2,317人 実績(R1) 5,425人 目標(R2) 4,500人	A	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターを中心にサロン等の「通いの場」の開設に向けた支援を行った結果、サロン等が開設されている行政区数は順調に増加しています。 高齢者と接する様々な職域の方々や学生等を対象に養成講座を実施した結果、認知症サポーター数は順調に増加しています。 		
	がん対策	罹患率減少、生存率向上を目指して	がん検診により精密検査が必要とされた市民の精密検査受診率 (H28) 71.6% 実績(R1) 80.2% 目標(R2) 85.0% 子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券利用者数 (H28) 107人 実績(R1) 122人 目標(R2) 120人	A	<ul style="list-style-type: none"> 精密検査受診率は順調に増加しました。 子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券利用者数は順調に増加しました。 		
	「健康のさくら市」づくり	健康マイルカードの導入	有効性が高い健康マイルカードの導入検討	B	令和2年度現在、健康マイルカードの導入には至っていませんが、令和3年度の導入に向けて準備を進めています。		
		まちなか保健室	保健師・栄養士による健康相談を受けた人数 (H28) 2,581人 実績(R1) 1,601人 目標(R2) 1,390人	B	市営温泉浴場での健康相談を実施していますが、道の駅イベント開催時にも試行的に実施する予定です。		
		まちなかカフェ・ドクターズレストランの開設	さくらテラス・市民活動支援センター・わいわい広場など“まちなか”での健康相談事業等を検討中	B			
	障害者(児)支援体制の充実	障がい者就労施設から優先調達	R1目標額1,500千円 R1実績1,080千円 *障害者優先調達推進方針目標額	B	障害者優先調達推進方針に定める目標額に達していないため全庁的な推進に取り組みます。		
障害(児)支援体制		障害児通所給付費の利用者の延人数 (H28) 595人 実績(R1) 2,365人 目標(R2) 1,500人	A	市内に障害児通所支援事業所(4箇所)が開設されたことで障害児の支援体制が進みました。			
デマンド交通の進化	交通ネットワークの再構築	さくら市公共交通網形成計画策定	A	令和2年3月にさくら市地域公共交通網形成計画を策定しました。			
		H29年 うのはな号(氏家地区)運行全域化 H31年 つういんコンタ号運行開始		<ul style="list-style-type: none"> うのはな号の運行区域が氏家地区の全域に拡大したことにより、市内の交通空白地帯がなくなりました。 つういんコンタ号の運行により、全ての市民が、市内で最も大規模な病院である黒須病院へ乗合タクシーで移動することが可能になりました。 			
	運転免許返納への優遇制度充実	高齢者運転免許証自主返納支援事業の利用者数 (H28) 89人 実績(R1) 141人 目標(R2) 169人	A	市広報誌や高齢者サロンでのPR等により、高齢者運転免許証自主返納事業利用者が増えています。			
地域防災力の強化	防災訓練の全地区実施	規約に基づき設置された自主防災組織の数 (H28) 11団体 実績(R1) 28団体 目標(R2) 38団体	B	自主防災組織は年々増加していますが目標には達していません。			
さくら市の魅力倍増	暮らしを楽しむ健康散策ゾーンの設定	氏家駅と鬼怒川を結ぶ散策ロード【氏家駅鬼怒川豊かな暮らしゾーン】	まちなか魅力向上委員会立上 氏家駅鬼怒川豊かな暮らしゾーン検討	B	<ul style="list-style-type: none"> さくらテラスやさくらスクエアにおいてイベントや展示を開催し氏家駅周辺の賑わい創出を図りました。 氏家駅と鬼怒川を結ぶロードについては地権者との話し合いを行いました、事業着手には至っていません。 		
		道の駅・桜並木・お丸山エリア【喜連川おもてなしゾーン】	まちなか魅力向上委員会立上げ 喜連川おもてなしゾーン検討	B	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅きつれ川の来場者を喜連川の街中への回遊してもらう仕組みづくりを検討しています お丸山公園の賑わい創出については継続して検討を進めます。 		
	「世界中の桜が咲くさくら市に 植樹計画」	桜を誇れるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 植樹した桜の本数(民地を除く。公共公益施設対象) (H28) 5,693本 実績(R1) 5,900本 目標(R2) 6,250本 勝山公園を桜の見本園化着手 お丸山公園 平地林の(桜へ)樹種転換着手 	A	<ul style="list-style-type: none"> きぬの里区画整理地斜面、お丸山公園斜面等に植栽しました。 勝山公園を桜の見本園とする事業に着手しました。 お丸山公園の平地林(2.59ha)にヤマザクラを含む約2800本の広葉樹に樹種転換を実施します。 		
		民間基金の創設	さくら咲き誇る小都市づくり基金創設	S	平成30年3月に基金を創設しました。		

政策	施策	事務事業	指標/取組内容	評価	評価分析(解説)
			基準値(H28) 実績(R1) 目標(R2)		
目！ふるさと の進化	アートなまちづくり	ミュージアムを核とした活動促進	ミュージアム(特別・企画展)入館者数(累計) (H28) 656,509人 実績(R1) 768,563人 目標(R2) 741,509人	A	・さくら市に関わる企画展を年8回程度開催し、魅力的な美術作品、貴重な歴史資料等を公開しながら、さくら市の歴史、文化を発信しています。
		芸術文化に彩られたまちづくり	市民ギャラリー等の利用可能日における稼働率 (H28) 17.6% 実績(R1) 50.0% 目標(R2) 20.0%	A	・市民主催のギャラリー展が開催され、市民の文化活動、創作活動発表の場として市民ギャラリーが定着してきました。
	国際都市SAKURAへ 国際友好都市の設定	世界へ向けてのSAKURAの発信	ホームページアクセス数(市HP・移住促進HP) (H28) 683,875回 実績(R1) 718,911回 目標(R2) 700,000回 東京2020オリンピックハンガリーホストタウン認定 オリンピック出場選手事前キャンプ誘致	A	・ホームページが市の情報を得られるツールとして認知されていることがうかがえます。 ・令和元年8月にハンガリートライアスロン選手団のトレーニングを受入れ、ハンガリーを相手国とする東京2020オリンピックのホストタウン認定を受けました。
		国際友好都市の設定	米国ランチョパロスベルデス市との友好都市締結	S	・令和2年8月に米国ランチョパロスベルデス市との国際友好都市盟約を締結しました。
	まちづくりNPO・市民ボランティア活動への支援充実	市民活動支援センター開設	令和2年4月 開設	S	・令和2年4月に旧eプラザ番館に市民活動支援センターを開設しました。 令和2年11月1日現在で30団体が登録しています。